

下松市の景観に関するアンケート結果報告

(対象：事業者)

《 概要版 》

《調査の目的》

下松市では、景観を守り、次世代に引き継いでいくため、平成24年に「景観計画」を策定した。その後、時間の経過や生活スタイルの変化により、まちなみも変化してきていることから、令和3年度に計画の見直しを検討している。

そこで、事業者が営業活動を行う中で感じている「景観」について意見を収集し、計画見直しの基礎資料とするため、本アンケート調査を実施した。

《調査の実施方法》

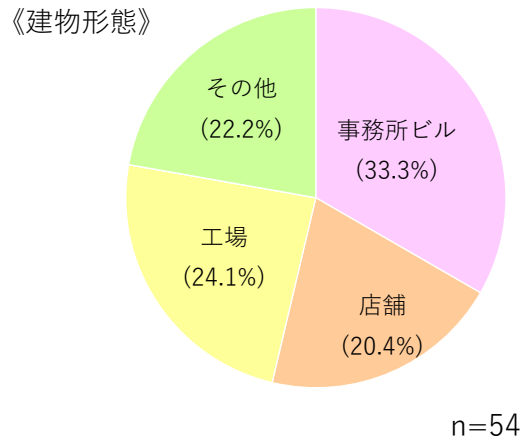
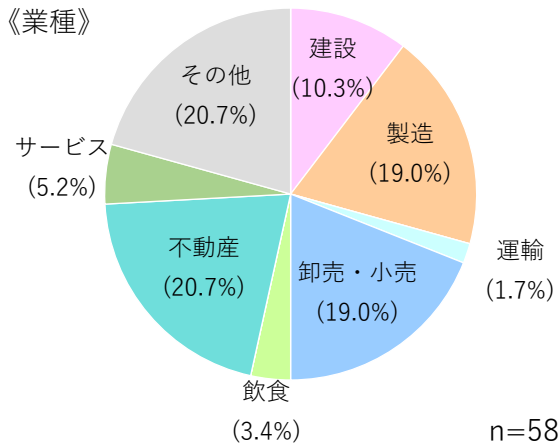
| | |
|------|-------------------------|
| 調査対象 | 景観行為届出者の事業者 |
| 調査方法 | 直接配布・回収 |
| 調査期間 | 令和3年5月28日 ～令和3年6月18日 |
| 回収数 | 58通 |

(注意事項)

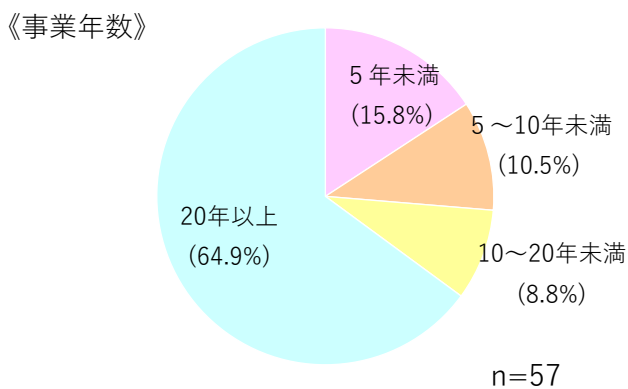
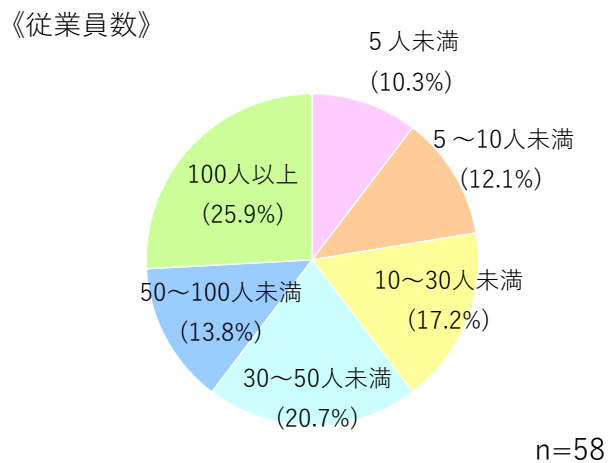
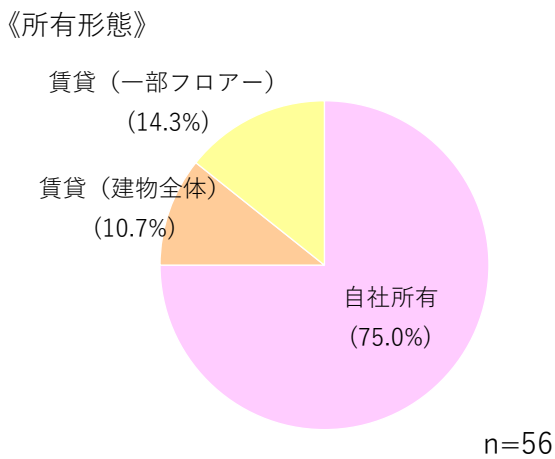
- ・割合(%)は、小数点第2位を四捨五入した数値を表記しているため、合計が100.0%にならない場合がある。
- ・不明、無回答を除く。

■回答事業者の属性

- 業種は、不動産業が最も多く、次いで製造業と卸売・小売業となっている。
- 事業所の建物形態は、概ね均等な割合となっている。

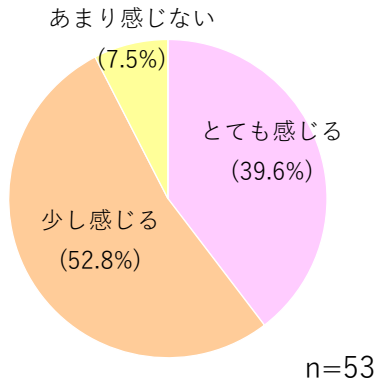


- 事業所の所有形態は、大部分が自社所有となっている。
- 従業員数は、概ね均等な割合となっている。
- 事業年数は、20年以上が大半を占めている。



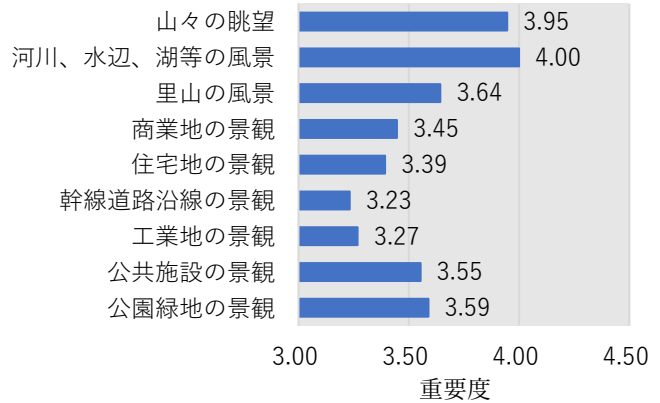
問1 下松市の景観について

●下松市の景観について、魅力や愛着を感じる（「とても感じる」+「少し感じる」）との回答割合は90%以上となっている。



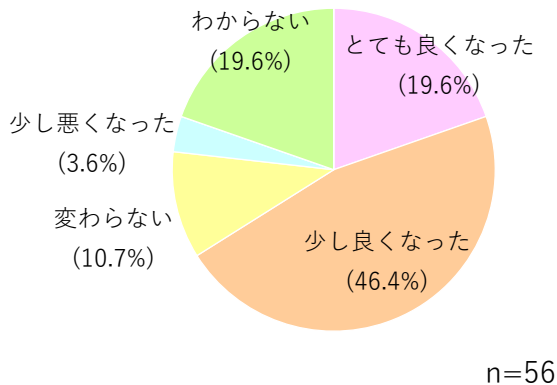
問2 下松市の景観について、どのように評価するか（5段階評価）

●下松市の景観に関する評価について、「河川、水辺、湖等の風景」の評価が最も高く、次いで、「山々の眺望」、「里山の風景」となっている。



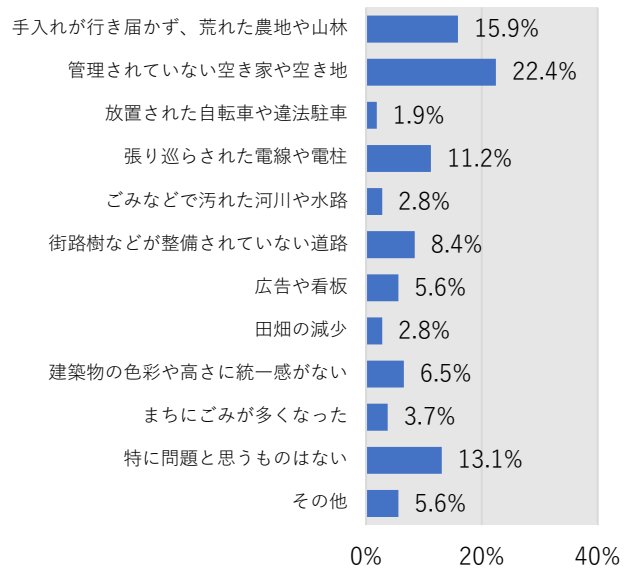
問3 10年前と比べて下松市の景観はどうか変化したか

●10年前に比べて景観が良くなった（「とても良くなった」+「少し良くなった」）と回答した割合は66%程度を占めている。



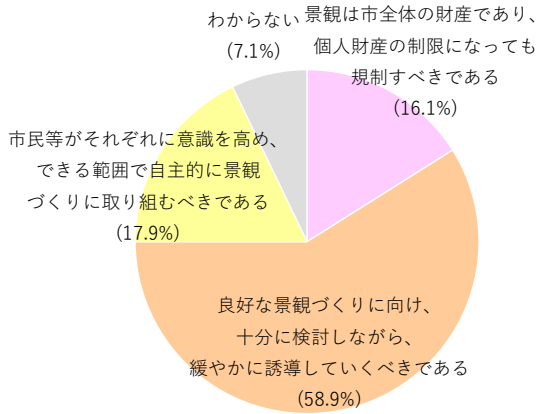
問4 下松市全体で景観を損ねていると思うものは（3つ以内）

●「管理されていない空き家や空き地」が最も高く、次いで「手入れが行き届かず、荒れた農地や山林」となっている。



問 5 下松市の良好な景観を守り育ていくための取り組む姿勢は

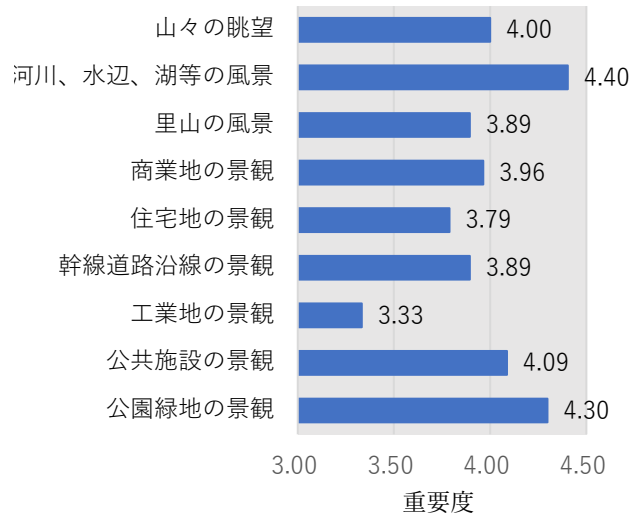
●「良好な景観づくりに向け、十分に検討しながら、緩やかに誘導していくべきである」が最も高く、過半を占めている。



n=56

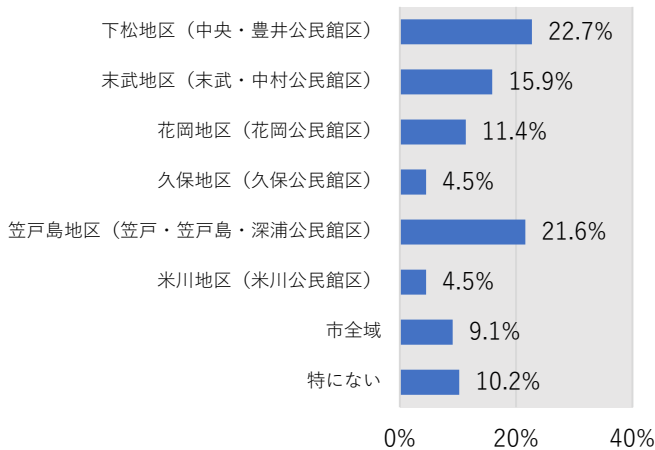
問 6 これからの景観を考える上で、あなたが大切だと思うまちなみは（5段階評価）

●「河川、水辺、湖等の風景」の重要度が最も高くなっており、次いで「公園緑地の景観」や「公共施設の景観」となっている。



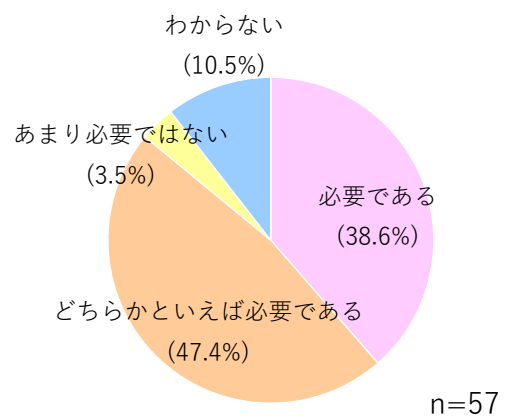
問 7 特に重点的に景観づくりを進めていくべきだと思う地域は（複数可）

●具体的な地域として、「下松地区（中央・豊井公民館区）」や「笠戸島地区（笠戸・笠戸島・深浦公民館区）」の割合が高くなっている。



問 8 景観づくりのために事業者が取り組むことは

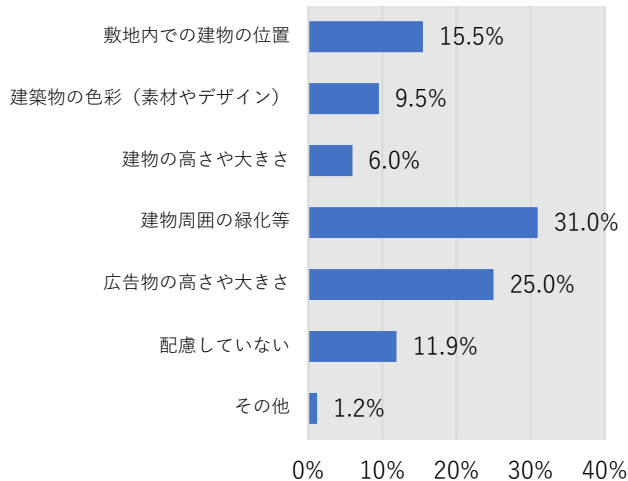
●事業者が景観づくりへ取り組むことが必要（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）の割合が大部分を占めており、その必要性が認識されている。



n=57

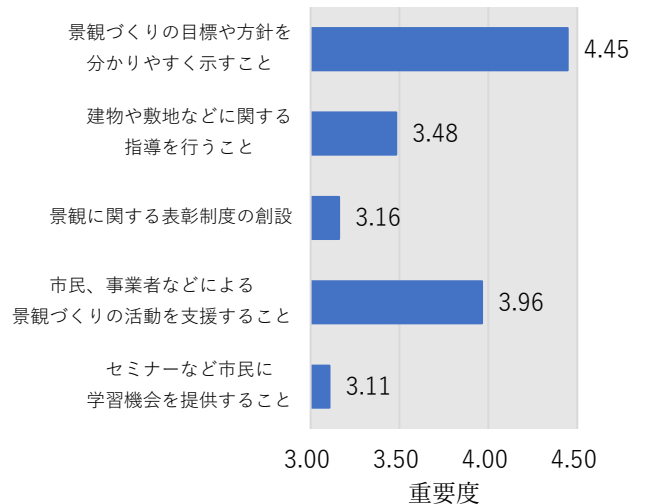
問 9 既に景観に配慮していること（複数可）

●既に景観に配慮していることとして、「建物周囲の緑化等」が最も多く、次いで「広告物の高さや大きさ」となっている。



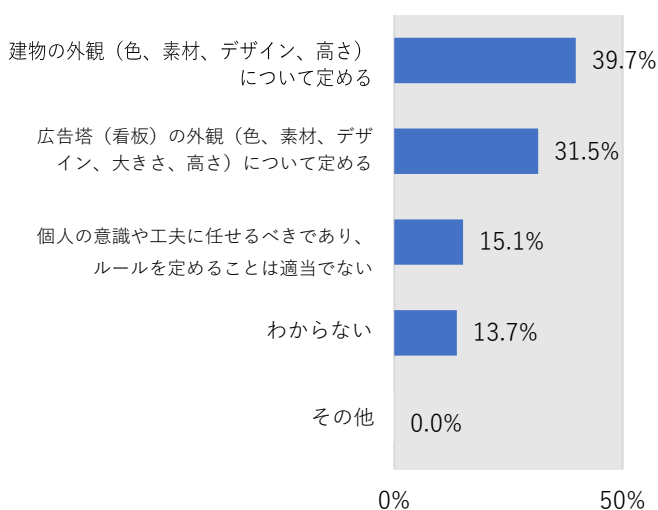
問 10 景観づくりのために行政が取り組むことは（5段階評価）

●「景観づくりの目標や方針を分かりやすく示すこと」の重要度が最も高くなっている。



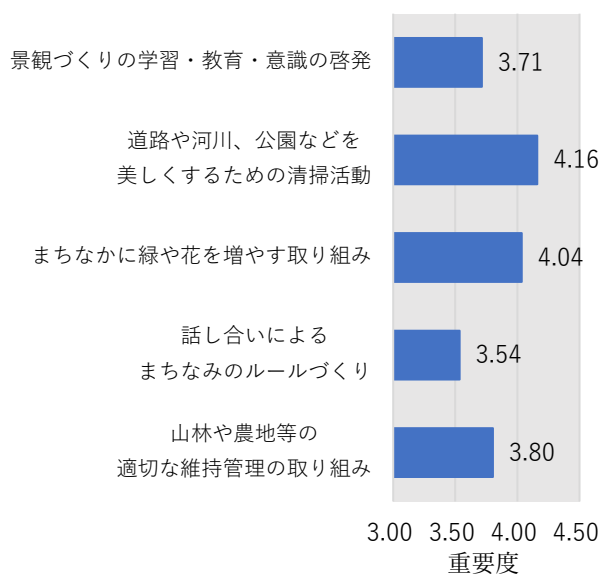
問 11 下松市内で具体的なルールを定めるとき、どのようなルールが必要か（複数可）

●「建物の外観（色、素材、デザイン、高さ）について定める」が最も高く、次いで「広告塔（看板）の外観（色、素材、デザイン、大きさ、高さ）について定める」となっている。



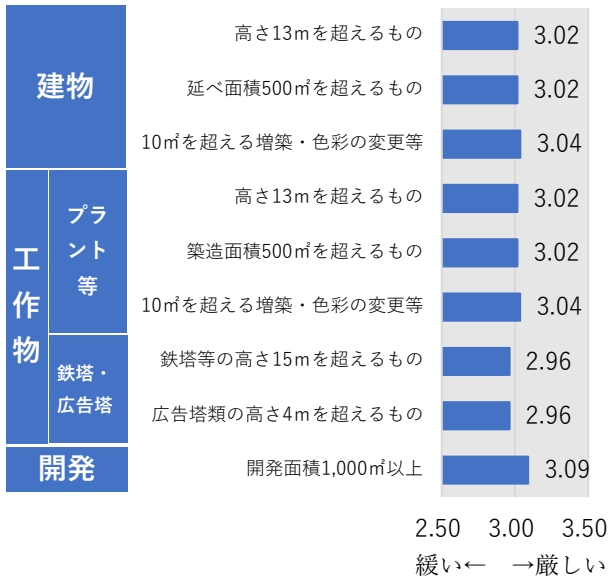
問 12 景観づくりのために、市民と事業者と行政が協働して行う取り組みの重要度は（5段階評価）

●「道路や河川、公園などを美しくするための清掃活動」の重要度が最も高く、次いで「まちなかに緑や花を増やす取り組み」となっている。



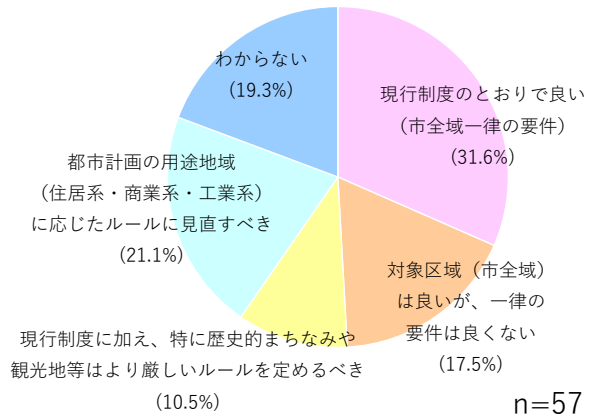
問 13 届出が必要な条件について (5段階評価)

●いずれの項目も、3.00前後となっており、あまり大きな差は見られない。



問 14 届出対象区域とその要件について

●届出対象区域とその要件について、「現行制度のとおりで良い (市全域一律の要件)」の割合が最も高く、次いで「都市計画の用途地域 (住居系・商業系・工業系) に応じたルールに見直すべき」となっている。



問 15 現行の届出制度における届出書類について

●「現行の届出書類のとおりで良い」の割合が大部分を占めている。

